

## 「実習車寄贈」 自動車工学科へ

佐賀ダイハツ販売(株)から自動車工学科へ実習で使用する実習車の寄贈があり、12月2日(木)に学院で寄贈式を実施した。「整備の技能や知識の習得に役立ててほしい」との思いから、整備士の養成に力を入れ優秀な人材を育成している学院へ寄贈された。同社には学院のOBが13人在籍し、今年4月に入社したOBは、北部九州の新人整備士の技能競技大会で1位になった。また、店長になったOBもいる。今回寄贈していただいた車両は、最新の衝突回避システム(スマートアシスト)を搭載した軽乗用車「タント」である。寄贈式で西川社長は「実習車を有効に活用し、頼もしい先輩に続く整備士になり活躍してほしい」と述べられた。西川社長から学院長へレプリカのキーが贈呈され、同社に内定している2年生の山口紘希君が学院を代表してお礼を述べた。なお、同社からの車両の寄贈は昨年につき2度目である。



寄贈車「タント」と関係者による記念撮影



エンジンや車内を確認する学院生

## 「技能検定成績優秀者 知事賞受賞」 令和3年度前期技能検定

令和3年度技能検定において成績優秀者を表彰する「佐賀県職業能力開発表彰式」が11月16日(火)に実施され、機械技術科1年の布川瑩君が、3級普通旋盤で「佐賀県知事賞」を受賞した。検定が実施されたのは7月で、入校後わずか3か月で検定を受験した。布川君は入校前企業で勤務の経験はあったが、旋盤作業は未経験であった。一緒に受験する仲間とともに、担当の指導員から熱心な指導を受け、時には放課後夜遅くまで練習に取り組んだ。学院では11月18日(木)に表彰伝達をしたが、熱心な指導や友の頑張った仲間と取り組んだこと、さらにこの結果を今後の資格取得や就職にしっかり繋げていきたいと力強く述べた。



グラデはがくれでの表彰式



表彰伝達式でお礼と今後の決意を述べる

## 「人権標語入賞」 令和3年度多久市人権標語(一般の部)

今年の人権・同和研修は9月9日(木)~14日(火)で各科毎に実施し、多久市人権・同和对策課から講師を招いた。なお、多久市が募集した「人権標語」に下記4標語が入賞し、同市人権フェスタの12月5日(日)に表彰された。

- 最優秀賞：考えよう 自分と人の あたりまえ  
(自動車工学科1年 古城 輝)
- 優 秀 賞：差別という言葉さえない社会に  
(自動車工学科2年 羽柴 宗)
- 入 選：思いやり その一言で 変わる未来  
(自動車工学科1年 山田 洸輔)
- 入 選：守りぬけ 誰もが持つる人権を  
(自動車工学科1年 木寺玲音)



木寺君 古城君 羽柴君 山田君

## 「2 学期終業式・ボランティア清掃」

令和3年も新型コロナウイルスの影響等で大変難しい年であった。様々な感染防止対策で学院内の様子も変化したが、訓練や資格取得さらにはものづくり大会への参加など、従来の取り組みが実施でき、成果も大きかった1年間であった。そのような状況で2学期の締めくくりとして、12月23日(木)に終業式を実施した。式では副学院長から『自分が頑張って取り組んできたその過程を振り返り、「できたこと」「来年へ向けての課題」を考えてほしい』と話があった。また、学院では1,2学期の終業式の日に通学などでお世話になっている学院周辺の「ゴミ拾い清掃ボランティア」を実施しているが、今年も終業式当日に実施した。



終業式



ボランティア清掃

## 【1月の主な行事】

- 委託訓練入校式：4 委託訓練選考試験：3 委託訓練修了式：4 在職者訓練開校式：2
- ・1/4(火)……………仕事始め
  - ・1/5(水)……………3 学期始業式
  - ・1/10(月)☞……………成人の日
  - ・1/21(金)……………自動車工学科1年「就職出陣式」
  - ・1/16(日)……………オープンキャンパス
  - ・1/28(金)……………2月選考試験「募集締め切り」(選考試験：2/4(金))

## ＜編集後記＞

コロナ禍でいろいろなことに影響があった令和3年でしたが、様々な感染防止対策や学院生・職員一人一人が意識を持った生活ができ、無事2学期を終えることができました。年が明けると締めくくりのいろいろな行事が待っています。学院生・職員一同しっかり取り組んでいきたいと思ひます。